

地域で育てよう！地域を愛し、未来に生きる北潟っ子

あわらし北潟小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	7回(のべ)9日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	96人
授業ボランティア(含:低ボラ)	人
登下校支援ボランティア	29人
その他(読み聞かせボランティア)	6人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

地域の宝「北潟湖」「北潟国有林」を活かした活動

本校では、北潟の自然を活用した体験活動を行っている。

「カヌーポロ」「花菖蒲園での写生大会」「マラソン大会」「ふなの放流」「北潟湖クリーン大作戦」「野鳥観察会」「国有林体験活動」などである。地域の人から昔の北潟湖の様子を聞いて、昔のようにきれいのしようと湖の清掃活動をしている。本年度は、縦割り班に分かれて、1～4年は湖畔を、5・6年はカヌーに乗って湖面や葦の間にあるゴミを拾った。

6月には、花菖蒲園での写生大会、1・2年はカニ捕り。7～8月には、カヌーポロ。

11月には、湖畔コースのマラソン大会、野鳥観察会、そして、北潟漁協の方々のお世話でふなの稚魚を放流した。

初めて取り組んだ北潟国有林での活動は、「木の枝で名札づくり」「カモフラージュ」「同じ物を見つけよう」の3活動を行った。これらの活動の機会を活用しながら、高学年が認められ、自分に対する自信を持ち、自己有用感を感じとれるよう、縦割り班活動の充実を図っている。また、この「縦の関係」を活かすために、教職員が連携し、他学年の行動や思いに気づき感謝の心を育む指導を心掛けている。

(成果と課題)

協議会では、いろいろな立場の方から、地域での子どもの様子や学校教育、子育てについてのいろいろな意見を聞くことができた。そして、今までの活動をさらに工夫して広げていくことが課題としてあげられた。

